

平成22年度みーもの森づくり事業進捗状況一覧表

資料

実行型(自ら立案・自ら取り組む)

… 新聞報道や地元情報誌、写真提供等のあった団体

番号	管内	取組の名称	平成22年度の事業概要	実施団体	実施(予定)状況	完了予定	交付決定額(円)	参加予定人数
1		松山の再生と花仙山椿が咲く森づくり活動	●さんいん環境キャンペーンの一環として整備 ●作業路368m、地拵え1ha、植栽1,000本	山陰中央新報社	・11/6植樹イベント実施	3.31	1,679,690	100→280
2	松江	心の故郷いやしの森	●0.2haの竹林の伐採 ●ヤマザクラ400本を植栽する	島根県森林土木技術協会	・11月地拵え、植林	3.31	1,511,750	44→100
3		「竹藪」を竹林保全の普及啓発のための「モデル竹林」へチェンジ!事業	●0.5haの竹藪を「竹林」へ整備する ●会員、一般人による作業	NPO法人もりふれ倶楽部	・竹林整備実施中	3.15	956,744	60
4	雲南	間伐材利用による加茂ふれあい交流施設設置事業	●県産(間伐)材を活用した交流施設の建設 ●椎茸植菌親子体験交流	加茂遊学ファーム	・11月完成イベント ・3月親子植菌事業	3.31	2,166,350	70
5		竹資源の有効活用技術の開発と実証	●竹をパウダー化するための植織機の導入 ●竹パウダー炭化装置の開発	竹資源有効活用協議会	・実証実験中	3.31	1,675,000	150
6	出雲	出雲神楽舞台島根県産材作成事業 出雲神楽出張出前公演事業	●地元斐川産材で移動式神楽舞台を作成 ●出前公演による県産材や水森税の認知度向上	阿宮神能保存会	・10/16神楽公演 ・12/5神楽公演	2.28	564,060	12(作成)
7		砂防林植樹	●砂防林復活のための抵抗性黒松の植栽 ●小学生、会員による植栽	浜遊の森の自然を守る会	・2月植栽	3.31	909,200	72
8		ふるしき山プロジェクト(森林バイオマスの地域循環システムの構築にむけて)	●雪害木及び間伐材を集材し、チップ工場へ送る ●チップは介護施設のボイラーとして利用	NPO法人緑と水の連絡会議	・9/18,19イベント実施	3.10	1,358,475	30
9	県央	浮布広場整備事業	●県産材を使用した東屋、ベンチ、テーブルの整備 ●設計士の指導のもと、ボランティアも参加	池田地区まちづくり推進協議会	・11月竣工	3.31	874,432	100
10		源流の里づくり	●森林の役割を伝える講演会の開催 ●ベレットストープの設置 ●アカマツ林の整備	市木自治会	・10/23看板づくり ・10/31ベレットストープ披露 ・11/21植樹	3.31	2,666,000	120
11		石見海浜公園の松林再生	●アクアス前海岸の整備(2.17ha) ●抵抗性クロマツ1,600本の植栽	浜田地方林業研究グループ	・12/11,3/12植樹	3.30	2,804,225	160
12	浜田	森づくりは海づくりin浜田	●松枯れ跡地の整理 ●漁業関係者等による植栽 ●椎茸植菌体験 ●チェーンソーアート鑑賞	森づくりは海づくりin浜田実行委員会	・10/30植樹イベント	3.31	2,150,812	170
13		林地残材の活用促進により弥栄の森づくり	●放置されてる病害虫被害木、間伐材の搬出除去 ●林内作業車の導入 ●被害木の燃料利用検討	やさか森づくりの会	・10/30林業作業車活動	3.31	2,047,500	270
14		遠田海岸防風保安林整備事業	●笹、かん木類等の伐開整備(0.2ha) ●地元住民等による抵抗性クロマツ600本植栽	安田地区連合自治会	・11月～区域の踏査 ・3月植栽	3.15	1,171,175	100
15	益田	きれいな松林を育て次世代に残す運動IN大塚	●3.33haの下刈り ●ボランティアによる抵抗性クロマツ2,500本等の植栽	大塚自治会	・9月以降毎月活動中(大雪時除く)	3.31	951,194	450
16		ドングリ山を減ぼすな!次世代に引き継ぐ緑豊かな里山を守り育てる森づくり	●キクイムシ被害にあったナラ枯損木の伐倒、処理 ●植樹、玉切り体験会等の開催	万葉公園友の会	・11/16植樹体験会 ・12月中旬被害木伐採 ・1/14鹿焼き体験	3.20	1,873,800	210
17	隠岐	里山再生事業	●残土処理場跡を伐開、地拵し、地元住民で植栽する ●里山観察会を開催する	(社)原田愛郷社	・10月下旬地拵え ・11/14植樹イベント	3.31	713,000	55
18		ぬくもりのある図書館づくりで森づくりを!	●新設される図書館へ県産材使用本棚を設置 ●町民参加型で組み立てる	海士町教育委員会	・10/2ワークショップ実施	2.28	1,690,000	15
合計							27,763,407	2,032

委託型(自ら立案・作業は他者に依頼する)

番号	管内	取組の名称	平成22年度の事業概要	実施団体	実施(予定)状況	完了予定	交付決定額(円)	参加予定人数
1	松江	道の駅本庄(公園)環境整備	●道の駅本庄に隣接する公園に野外卓を3基設置 ●自然環境にマッチした県産材を活用	道の駅本庄企業組合	7月完了。PRイベント実施	7.3	579,600	
2	雲南	尾原ダム湖岸～紅葉の森プロジェクト	●ダム湖周辺の放置林2haの整備 ●地拵え、ウリハダカエド等500本の植栽	雲南市	・10月～地拵え ・3月植樹	3.15	1,000,000	
3	出雲	見晴らしの丘公園の防風林の保全、景観維持を目的とした植栽計画	●見晴らしの丘公園の松枯れ跡地整備 ●抵抗性クロマツ、サンゴジュ計200本の植栽	出雲市	・11/24植樹祭	3.31	1,000,000	
4		浜田市の名木認定の木製標柱設置	●名木24本に県産材を使用した標柱を設置 ●市民に関心をもってもらう	浜田市	・作成開始	2.28	504,000	
5	浜田	江津本町地区の歴史的建造物を活かした桜植彩事業	●歴史的建造物周辺の灌木類を除去 ●県産材ベンチ30基設置 ●桜の植樹は自力	本町・金田・島の星地区連合自治会	・ベンチ作成済み	2.28	997,500	
6	益田	「名木:金谷の城山桜」周辺整備…荒廃竹林を花と紅葉の森へ…	●住民が高齢化し、桜周辺の手入れができない ●竹伐採0.53haと苗木430本の植栽を委託	美都町金谷自治会	・11月～竹伐採・地拵 ・3月広葉樹植栽	3.25	574,350	
合計							4,655,450	

「しまね環境キャンペーン」 しまね企業参加の森づくり 森林保全活動 act1

本年度から参加した「しまね企業参加の森づくり」の第一回目となる活動を11月6日、玉湯町湯町の花岡山で行いました。当日は前口営兵衛兼真知事、中村光男松江市副市長等をむかえヤマサクラを記念植樹した後、さんいん環境キャンペーン協賛企業や一般参加の企業、個人、活動エリアの所有者である湯町自治会の住戸約280名は、糸道川の滝をバックに松くい虫被害に強い抵抗性マツとヤマサクラ合計2万本を植樹しました。

この活動は、4月に山陰中央新報社と協賛し、松江市、松江八東森林組合が結んだ森林整備協定に基づき、松江市玉湯町湯町自治会（小室千代志会長）が所有する「花岡山」の土地約8・9ヘクタールのうち4ヘクタールを活動エリアに定め、今後10年間、道樹や林内整理など森林保全活動を続け、豊かな里山の再生を目指します。



11月6日涼森林保全活動に参加されたみなさん

「しまね企業参加の森づくり」
 ■水資源の豊かな里山や果樹園などの公益
 的機能を有する森林を国民共済の財
 産として位置づけ果樹との関係による森づ
 くりを推進しています。企業が社会的責
 任(CSR)活動の一環として取り組ま
 れる森林保全活動を支援しています。

- 森崎 善男
 狩野 和志
 金塚 昭
 岸本 悠
 柳庄 雄生
 内田 祥吾
 河内 すみか
 戸谷 和正
 岡本 祥吾
 田中 清
 南 孝宏
- 島根県 松浦 勇美
 岡山県 伊藤 誠
 広島県 杉原 始子
 山口県 藤井 輝二
 香川県 立富士夫
 徳島県 河川 順次
 愛媛県 藤次 有純
 高松市 藤原 有純
 高松市 藤原 有純
 高松市 藤原 有純

- 高橋 典興
 飯塚 亮
 小原 幸次
 福岡 孝夫
 松本 功
 堀江 浩一
 津田 俊人
 山田 浩之
 大谷 尚美
 吉岡 智久
- 福井県 堀江 清三
 石川県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正
 福井県 菅野 昭正

- 永井 順子
 倉元 尚
 渡邊 賢太郎
 川口 智美
 飯津 修
 末廣 昇
 足立 宏史
 山内 武夫
 竹内 尚
- 岡山県 永井 静香
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正
 岡山県 菅野 昭正

- 小室千世志
 鏡 向井
 正樹 石谷
 廣 弘吉
 藤 小原
 廣 小室
 廣 小室
 廣 小室
 廣 小室
 廣 小室
 廣 小室
- 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志
 岡山県 小室千世志

他多数の方に参加いただきました。

(み-もや森林の事業)



クワを使ってヤマザクラの苗を植える参加者

森林土木技術協会の
県制度活用し植樹
の仲間 八雲で開始
県森林土木技術協会

は、県の「企業参加の森づくり制度」を活用し、松江市八雲町で植樹を始めた。協会の加盟企業社員や、家族約

100人がヤマザクラ約400本を植えた。

作業したのは、竹が生い茂っていた約20ア。前日の雨でぬかるむ斜面で、参加者はクワを使って穴を掘り、約1畝の苗を次々と植えた。

協会は春と秋に手入れし、10年かけて計約3・1畝に植樹する計画。2006年から始まった制度を

利用するのは9団体目。

協会は林道などの設計や災害後の山林を調査する22社で構成する。石田脩生会長(57)は「里山の機能が失われてクマの出没が相次いでいる。普段お世話になっている山と地権者に恩返ししたい」と話した。

活用竹炭の悩み

協活用資源市の雲出根県島

1979
日農

砕いて粉体、堆肥にも

島根県出雲市の竹資源有効活用協議会は、東広島市のガイア協同組合の協力を得て、竹炭作りに力を入れている。竹林の荒廃、耕作地への侵出など、地域の課題となっている竹問題の解決策の一つとして、粉碎機でチップ化した竹を粉炭にする。



竹チップを缶に入れて焼き、容積が40%程度になった竹炭をそのまま取り出す

従来の竹炭製造は、伐下面で課題があったが、炭化することで解決でき、粉体であることから採・搬出・裁断などコストも削減でき、現場で伐採、チップ化、

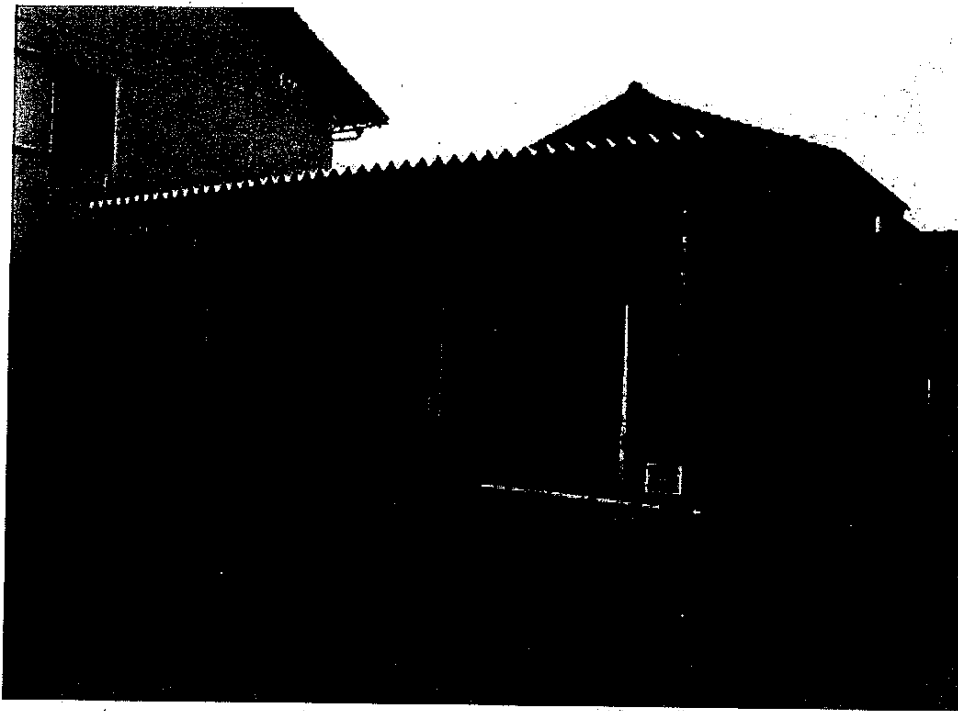
農業分野への利用も楽だ。県内でこの方式を導入したのは同協議会が初めて。

粉碎された竹を1斗(18斗)缶に詰め、窯に入れて焼くが、時間は原料の水分や作りたい竹炭で異なり、マニュアル化できる。

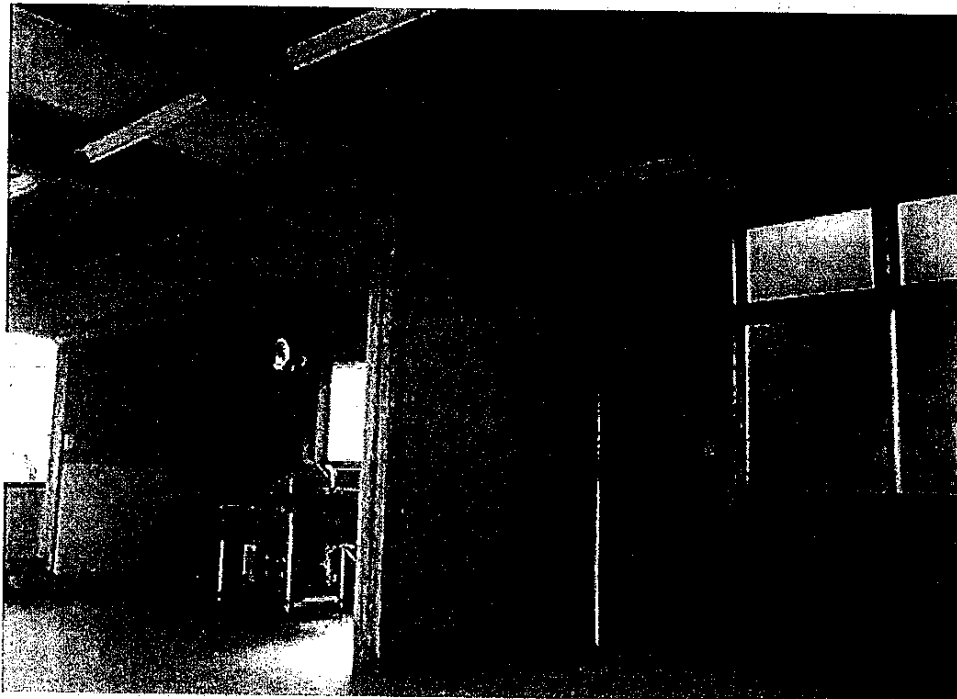
同協議会の富田節雄代表は「チップ化した竹を用いるため、作業効率が良く、低コストで済む。粉体なので堆肥や土壌への混和も楽」とし、野菜栽培で竹炭の効果が実証されているので「興味のある人へは提供したい」と話す。

(21-モ9再つ-01事業)

(みもろ森づくり事業) 加茂(松原)ホーム
ふしあいの交流施設

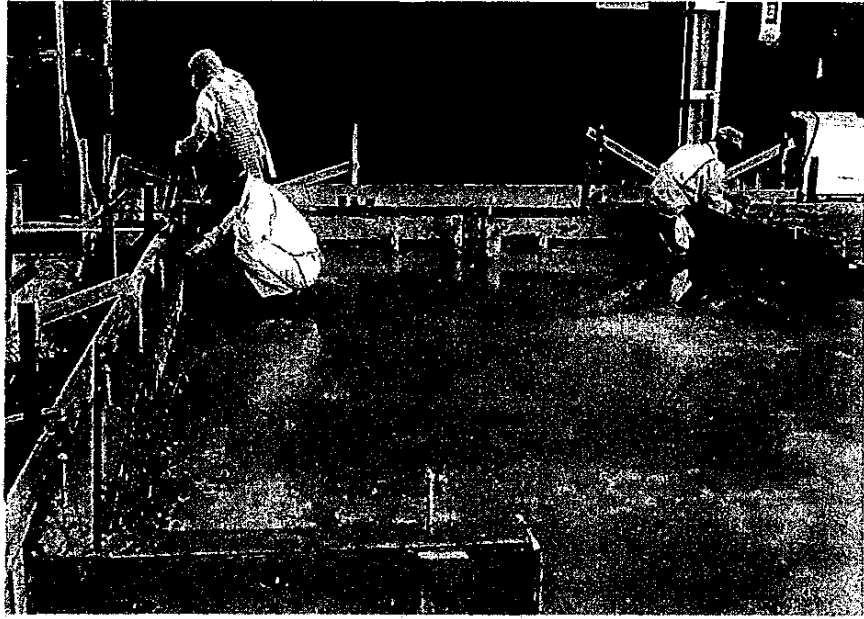


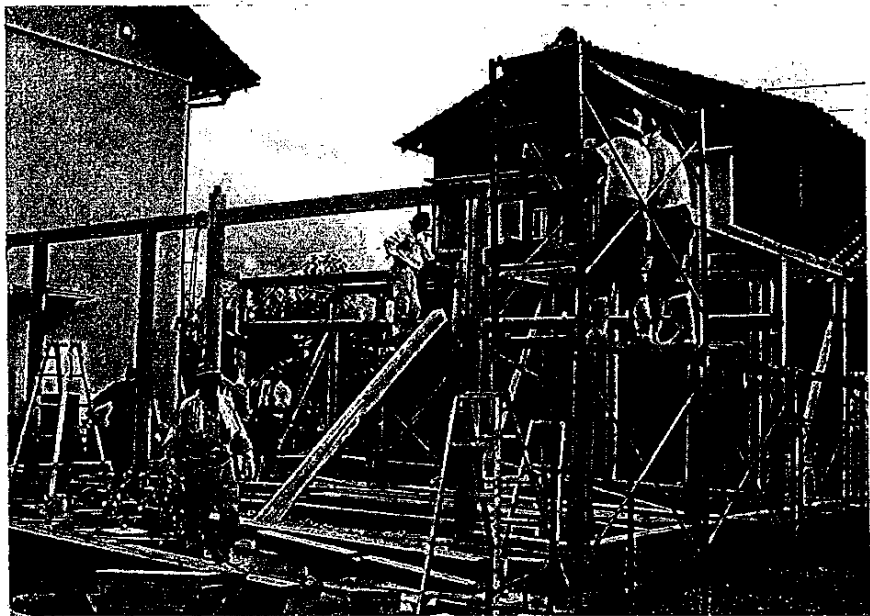
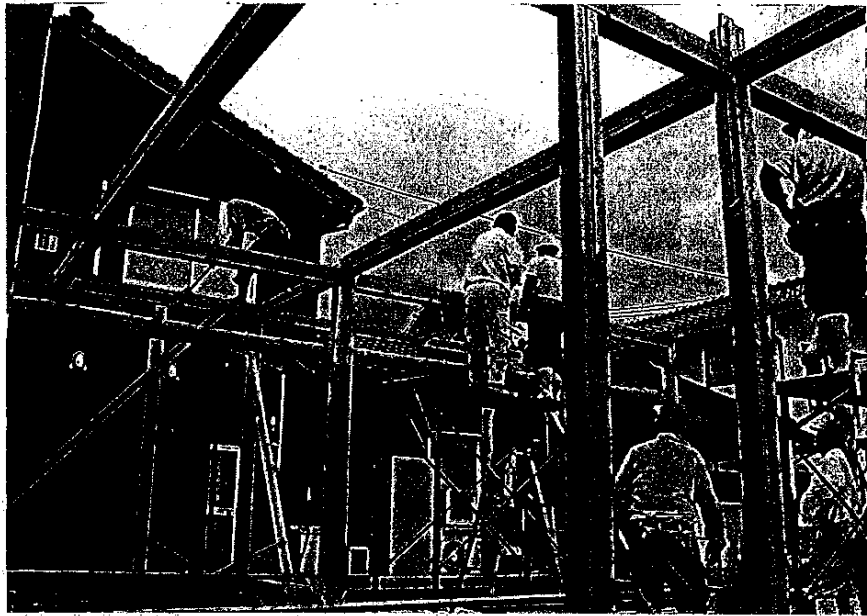
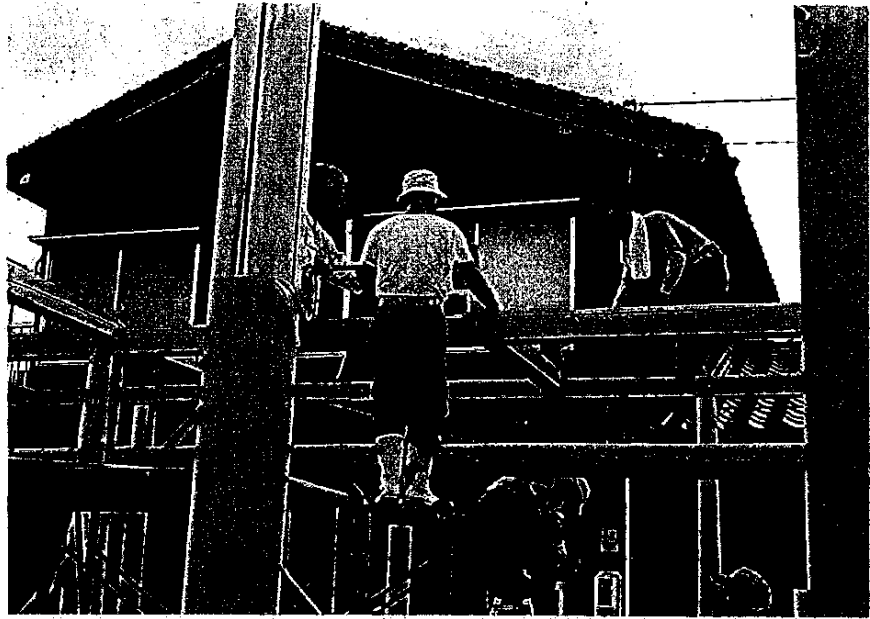
正面扉 開放状態



内部







**参加者
募集中!**



大田命
(おたのみこと)



大国魂大神
(おおくにみたまのおおかみ)



倉羅魂命
(うらがのみたま)

2010.
12月5日

コース 9.6km / 6.6km

加料 200円

小学生以下無料 (高校生以下無料)

タイムスケジュール
8:00~ 能義小学校体育館で受付開始 8:30 開会式
8:45~9:15 ウォーキング教室 (日本ウォーキング協会指導員)
9:30 9.6Kmコーススタート 9:45 6.6Kmコーススタート
12:00~ 昼食※1 & 「発掘あるある出雲風土記」のき 鑑賞
13:30~ 閉会式 (表彰・抽選) 14:00 解散

※1 特製猪肉入り豚丼「独松山どんぶり」 & 特製かに汁 (ウォークラリー参加者のみに提供)

同日開催

出雲神話による、能義の里開拓の祖神「大国魂大神」降臨伝説を語り継ぐ。

司会 べるを

時間 12:00~13:30
場所 能義小学校 体育館

催し内容

1. 出雲風土記語り起しトーク
解説 松江市立出雲玉作資料館 館長 三宅 博士
2. 出雲神楽 & 安来節「アキリン」公演
出演 神楽 安川阿宮神能保存会
安来節 丸瀬 一字
特設神楽舞台ステージを体育館に設置し、その上から公演いただきます。
※出雲神楽舞台島根県産材作成事業「島根県水と緑の森づくり隊」の森づくり事業採択!

ウォークラリーに
参加されない方も
無料で鑑賞
できます

主催 能義地区を語る会

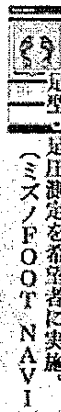
発掘あるある出雲風土記のき 安来市地区トライアングル助成事業

9.6kmコース

- 能義小学校スタート
- 意多伎神社 (飯生町)
- 尖松八幡宮 (尖松町)
- 観音堂 (矢田町)
- 能義神社 (能義町)
- 貴布禰神社 (赤崎町)
- 月坂公会堂 (月坂町)
- 沢宮農組合前 (沢町)
- 消防車庫横 (利弘町)
- 能義小学校ゴール

6.6kmコース

- 能義小学校スタート
- 意多伎神社 (飯生町)
- 尖松八幡宮 (尖松町)
- 観音堂 (矢田町)
- 能義神社 (能義町)
- 消防車庫横 (利弘町)
- 能義小学校ゴール



ウォークラリー参加者
全員に
参加賞あり

大人から子どもまで気軽に楽しめるウォーキングコースです。
ラリーポイントに置いてある品種の違うミニおにぎりを
食べ当てるゲームで、食品をGET!!

※悪天候の場合は、体育館でウォーキング教室等を開催します。
よってその他の催しは予定通り行います。

お問い合わせ
申込方法
能義おたべウォークラリー実行委員会
Tel&Fax.0854-23-0764

島根県安来市飯生町566-3 (能義交流センター内)

申込書に必要事項をご記入の上、Fax・郵送・持参にて
お申し込みください。

締切は、11月20日 (土) です。

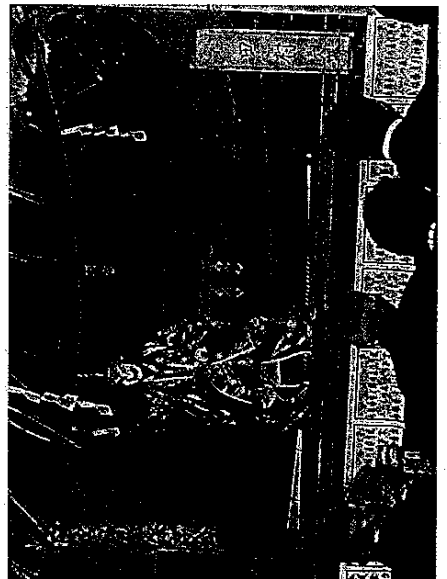
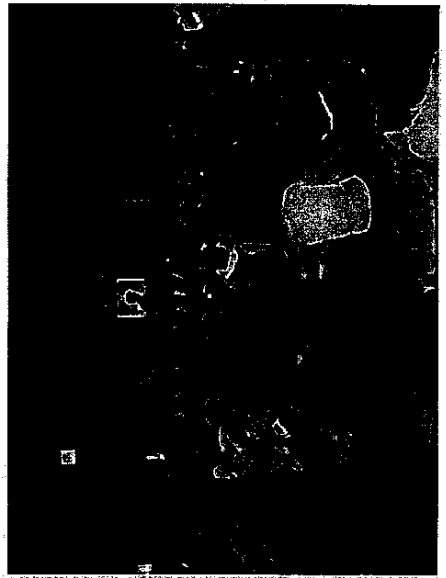
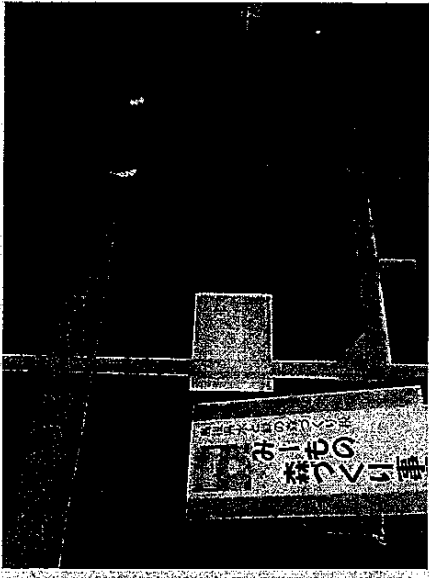
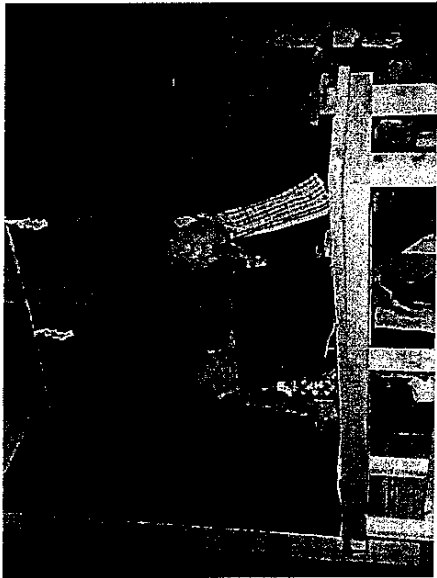
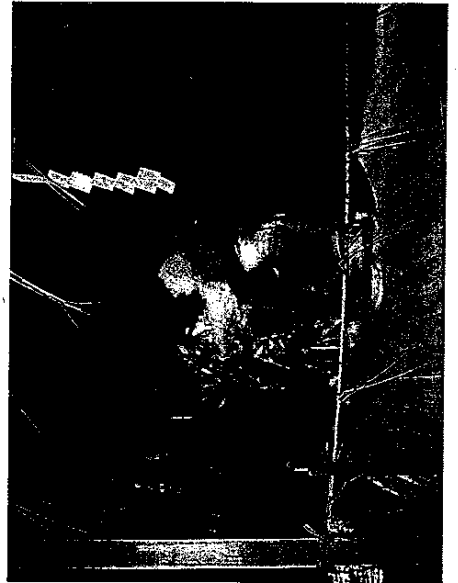
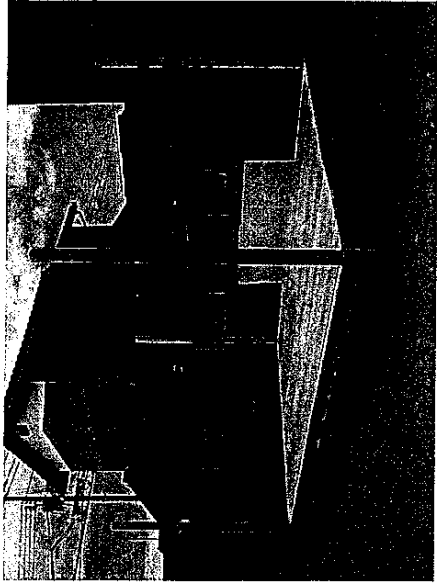
主催 安来市体育協会
実行団体 能義地区体育協会 後援 株式会社やすぎトヨー
協力団体 能義交流センター 能義地区自治会 能義町会
能義地区友会 交通指導員 能義地区食生活改善推進部
能義地区健康推進部

能義おたべウォークラリー

2010安来市健康ウォーキング
おおくにみたまのおおかみ
大国魂大神降臨の地「稲成り生ふ」能義路を歩こう!

白鳥を見ながら、
初冬の能義原野を
めぐる旅をしよう。

阿豆神能保存会



里山バイオマスの地域循環に向けて

ふるしき山プロジェクト

ワークショップ(事例報告と現地実演視察)

<日時>2010年

9月19日(日)

森林ボランティアの日

●午前9時30分集合 ●13時解散

林内作業車と軽架線による 集材ワークショップ

<事例報告と技術指導>

NPO法人 土佐の森救援隊(高知県) 事務局長 中嶋健造さん

●9:30(会場)「ゆきみーる」(0854-83-3737) 2階会議室
大田市大田町「七色館」向かい

<現地視察>「ゆきみーる」から、乗り合わせて移動します。

●11:00 林内作業車と軽架線による集材ワークショップ

<会場>大田市富山町久谷「ふるしき山」

●12:00~12:30 昼食交流会

●13:00 大田町にて解散

<説明>

2010年1月に続いて、土佐の森救援隊に来ていただきます。
森林整備のためノンプロ市民が自力で間伐を進め、間伐材を出荷して経済価値(地域通貨)を生む。全国で注目されている「土佐の森方式」のミニチュア版サイクルをここ大田市でも実現しようとしています。

最終消費地は大田町の介護施設「七色館」。ここには全国にさがかけて2003年以来稼働しているバイオマス・チップボイラーがあります。

地域の燃料は地元で調達したい。豊かな里山の恵みを利用する実証例を見せたい。これが私たちの願いです。

<参加費>500円(資料代)(弁当・お茶希望の方は別に1000円)

<申し込み締め切り>

9月15日までに以下の内容をFAXまたはメール

・参加者氏名・所属団体等・住所・電話番号(なるべく携帯電話番号)・年齢・性別
・集会場所の希望・弁当の希望の有無(記入しないと用意されません)

●申し込み及び問い合わせ先

NPO法人 緑と水の連絡会議

〒694-0064 高知県大田市大田町大田1376-1

電話 0854-82-2727 FAX 0854-84-0262

メール: glnmori@hotmail.co.jp(事務局長 和田)



高知県 みーもの森づくり事業
緑の基金特定公益事業
後援: 森林を守る山陰ネットワーク会議

「自前の軽トラック持ち込みによる、 木材運搬ボランティア募集中

●富山町~久手町 ●平成22年10月~12月

●予定台数40回、自由出勤

●必要数量完了した時点で終了

●先着順締め切り

●自家用車使用実費と「ゆきみーる施設内通貨」
による寸志謝礼あります。

●問い合わせは090-6837-3008 (和田)

緑と水の連絡会議

« 2010年09月18日 | Main | 2010年09月20日 »

2010年09月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

カテゴリアーカイブ
 成果物 (7)

最新記事
 聞き書き本編集大詰め
 ひとりものがたりβ
 仰る
 祝アジア杯サッカー優勝
 思春期のこころと性
 籍っています
 聞き書き本チラシ
 みーもスクール炭焼き編
 りんごパースデー
 さとし室長テレビ登場

最新コメント
 もっちゃん
 ⇒ 聞き書き本編集大詰め (02/02)
 なお
 ⇒ 聞き書き本編集大詰め (02/01)
 さとし
 ⇒ ひとりものがたりβ (02/01)
 かんぬし
 ⇒ 聞き書き本編集大詰め (02/01)
 ginmori
 ⇒ ひとりものがたりβ (02/01)
 ginmori
 ⇒ ひとりものがたりβ (01/31)
 ろくしま
 ⇒ ひとりものがたりβ (01/31)
 かんぬし
 ⇒ ひとりものがたりβ (01/31)
 なお
 ⇒ ひとりものがたりβ (01/31)
 toshinobu
 ⇒ 仰る (01/30)

最新トラックバック
 NPO活動推進自治体フォーラム島根大会 リンクまとめ！ (11/24)
 バイオマスの地域循環にむけて (01/31)
 じゃらんのポイントをお持ちの貴方へ (07/08)

ふるしき山プロジェクト [2010年09月18日(日)]

ふるしき山プロジェクトは、土佐の森救援隊の事例報告をゆきみーるで聞いてから、ふるしき山へ移動して、軽架線による木材搬出のデモンストレーションを見学しました。



中山間地域研究センター、ごうぎん地域振興部、島根大の学生さんおよび、木材搬出に応募した地元市民など、顔ぶれが増えました。いけそうな手ごたえです。



国際ワークキャンプメンバーは3箇所に分かれて、今夜はホームステイで一息いれています。

Posted by ginmori at 19:58 | この記事のURL | コメント(1) | トラックバック(0)

緑と水の
プロフィール
バイオグラ
ブログ

毎日0
検索
こ

及活動等を紹介しています

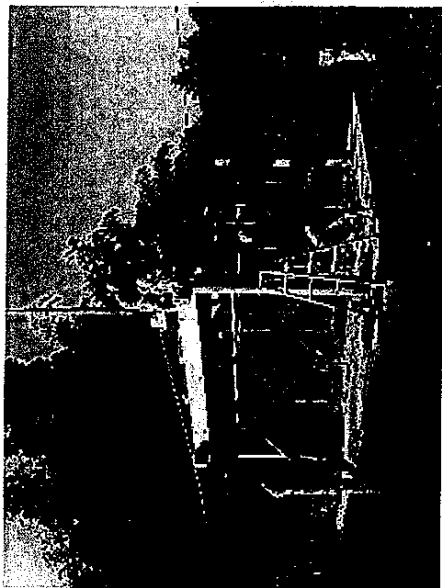
携帯



URLをメールで送信

最新記事

- [VOL.30 君も一楠に森林を守らないか！\(島根県立農業大学校 学生募集\)](#)
- [vol. 29 『木炭・竹炭装飾展』開催中！](#)
- [vol. 28 『臼イマツ\(銀松\)』をマツクイムシから守れ！予防剤の樹幹注入作業実施](#)
- [vol. 27 浮布広場の「東屋」竣工式開催！](#)
- [Vol.26 ナラ枯れ被害を食い止める](#)
- [vol. 25 市木自治会「みーもの森づくり事業サクラ苗木植樹祭」開催！](#)
- [vol. 24 たっだ今「東屋」作中中！](#)
- [vol. 23 『ごうきん希望の森』\(世](#)



平成22年11月21日(日)に棟上げ式が行われとのことで、東屋づくりが行われている浮布広場に行ってみました。

作成者は「池田地区まちづくり推進協議会」の皆さんで、平成22年度みーもの森づくり事業において、潤い・癒し・安らぎが感じられる環境づくりや森を活かした環境整備を進めています。

浮布広場ではその一環として県産材を使用した東屋づくりが行われています。完成の際には、再びこのブログで報告したいと思います。



及活動等を紹介しています

携帯



URLをメールで送信

最新記事

[VOL.30 君も一緒に森林を守らないか！\(島根県立農業大学校 学生募集\)](#)

[vol. 29 『木炭・竹炭装飾屋』開催中！](#)

[vol. 28 『ヨロイデツ\(蟻松\)』をデザインから守れ！予防剤の樹幹注入作業実施](#)

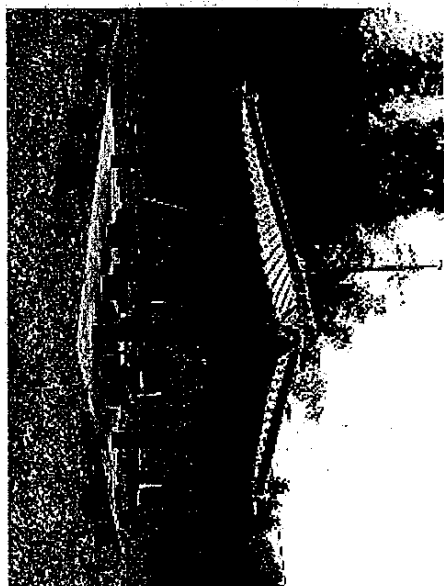
[vol. 27 浮布広場の「東屋」竣工式開催！](#)

[Vol.26. ナラ枯れ被害を食い止める](#)

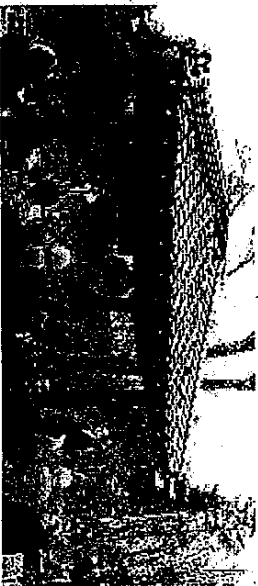
[vol. 25 市本自治会「みーもの森づくり事業サクラ苗木植樹祭」開催！](#)

[vol. 24 ただ今「東屋」作成中！](#)

[vol. 23 『ごうきん希望の森』\(世](#)

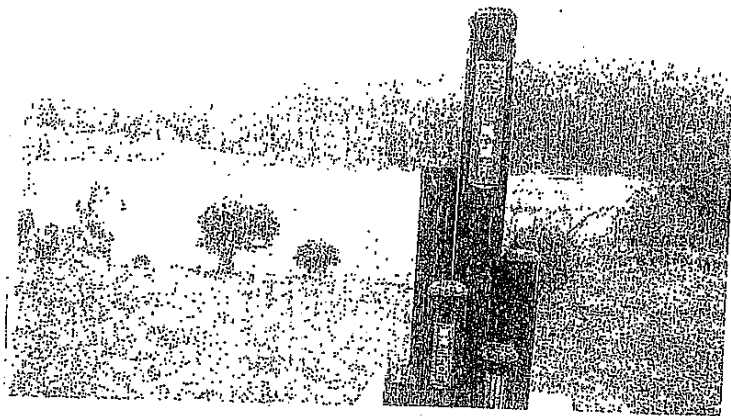


前回の記事で紹介しました棟上げ式 → <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/e/cea2a91ebc4a53cc53a59fc6622852a7> の時は快晴でしたが、今回は雨こそ降らなかつたものの曇り空の中、池田地区推進協議会員など約40名が出席し竣工式が行われました。
完成した東屋は縦約3m、横約4m、屋根の高さは約3.5m。全て県産材で作られており、屋根瓦には石州瓦を使用しています。
浮布池周辺では今後も森林整備や草刈りなど「森を活かした環境整備」が進められる予定です。三瓶山の新しい観光スポットとして、また想いと安らぎの場所として地域の拠点になることを期待しています。



浮布の池に展望台完成

池の浮布から見える三瓶山と浮布の池



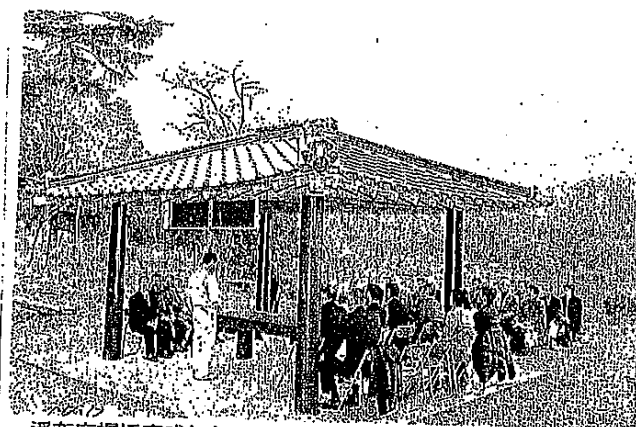
三瓶山を望む絶好の見晴らし 大田市三瓶町

三瓶山を望む絶好の見晴らしが復活した。大田市三瓶町池田地区にある浮布の池の西岸に、山と湖を一望できる展望台が完成し、十一日、竣工式が行われた。行政関係者や地域住民が集まり、完成を祝った。

浮布の池は、東西約四百坪の天然湖沼で、水面に男三瓶、子三瓶が映る姿は荘厳だ。しかし、近年は訪れる人も少なく、生い茂る雑木が景観を阻害していた。これを何とかしたいと、地域住民が立ち上がり、二〇〇八年から間伐や広葉樹の植栽

浮布広場に休憩所

三瓶山や池を一望 観光の新拠点に期待



浮布広場に完成した、三瓶山と浮布池を一望できる休憩所

大田市三瓶町池田地区の浮布池近くの浮布広場に休憩所が完成し、十一日、現地で行われた。式があった。同地区の住民で組織する池田地区まちづくり推進協議会(中間功会長)が事業主体となり、メンバーは建設作業にも参加。休憩所からは三瓶山と浮布池を一望でき、三瓶地域の新しい観光スポットとして期待される。

地元自治会とともに浮布広場の草刈りなどにかねて取り組んでいる同推進協は、地域住民や観光客の憩いの場所として

休憩所整備を計画。県の助成を受け、総事業費約1800万円を建設。11月からの建設作業には同推進協メンバーの有志がボランティアで協力した。

休憩所の敷地は縦約30坪、横約4坪で、屋根の高さは約3.5坪。上屋は県産材で作られ、屋根には石州瓦を使用した。式には同推進協や市、地元関係者ら約40人が参加。中間功会長が「池周辺の環境整備を進め、地域住民や観光客が安らぎを感じる拠点にしたい」とあいさつし、関係者が同広場にエドヒガンサクラの苗木を植えた。

は(進行)、整備を進めてきた。

完成した東屋は、県産材を使用。地域住民が構成する池田地区まちづくり推進協議会が主体となり、県、市の協力を得て完成した。

周辺は、三、四十年前には、飲食店のキャノン場があり、家族連れでにぎわった。観光スポットだった。同協議会の中間功会長は、「三瓶山を見ながら、訪れた人たちが絆を深め合える場所にしたい」と話す。今後も引き続き、広場周辺にキッズの植栽、周回道路沿いのサンパの植栽などを計画しており、ごまわりづくりを目指す。

眺望満喫スポット完成

三瓶山にあずま屋

国立公園・三瓶山(大田市)の浮布池西岸の浮布広場にあずま屋が完成し、11日、式典が行われた。三瓶山の景観を眺望できる絶好のスポットに、新たな憩いの場が誕生した。

地元住民でつくる池田地区まちづくり推進協議会

(中間功会長)が、整備を進めている浮布広場の活用促進につなげようと建設を計画。11月上旬から建設していた。

あずま屋に壁はなく、4本の柱が石州瓦ぶきの屋根を支える構造で、幅6坪、奥行き5坪、高さ3.6坪。

大人計約50人が座れるベンチ10脚とテーブルを置く。総工費は180万円。

式には、県や市の関係者と住民ら約30人が出席。中間功会長(61)がこの広場は三瓶山を眺められる最高の場所。あずま屋の完成を機に、新しい観光資源として役立てていきたい」とあいさつ。周辺に本を記念植樹して、完成を祝った。



新たな憩いの場として完成したあずま屋(大田市の三瓶山浮布広場で)

(肉連記事)

1月22日、23日「島根ふるさとフェア2010」(01/24)
 明けましておめでとうございます！
 (01/06)
 我がヒーロー！(12/27)

最新コメント

安夢未プロジェクト: 静間のいちご大福 (12/21)
 まさいくほのママ: 静間のいちご大福 (12/20)
 安夢未プロジェクト: 静間のいちご大福 (12/15)
 安夢未プロジェクト: 12月9日市木小学校収穫祭 (12/15)
 mamiko: 静間のいちご大福 (12/14)
 マロンです: 12月9日市木小学校収穫祭 (12/14)
 安夢未プロジェクト: 10月3～5日「榎尾八幡宮秋祭り」(10/28)

カテゴリ

未分類 (33)
 スケジュール (6)
 市木の出来事 (72)
 安夢未からのお知らせ (62)
 安夢未活動報告 (45)
 市木歳時記 (79)
 みーもの森づくり事業 (3)

月別アーカイブ

1/21
 市木自治会
 樹植樹
 約90名参加



森林部メンバーによるスライドショー「みーもくんの冒険」はオリジナル要素も加わって(笑)、子どもから大人まで楽しんで観ていました(*´▽`*)



森林インストラクターの稲垣さんに森についても分かり易くお話して頂き、森に対する知識も深まったところで瑞穂Cへ移動していざ植樹です！(*´▽`*)



こんなにたくさんの方が参加してくださいました！(*´▽`*)



森林部手作りの木の名札に、名前とコメントを書いてもらいました(*´U`*)

- 2011/01 (4)
- 2010/12 (9)
- 2010/10 (2)
- 2010/09 (7)
- 2010/08 (8)
- 2010/07 (7)
- 2010/06 (8)
- 2010/05 (3)
- 2010/04 (7)
- 2010/03 (13)
- 2010/02 (10)
- 2010/01 (10)
- 2009/12 (10)
- 2009/11 (11)
- 2009/10 (9)
- 2009/09 (8)
- 2009/08 (10)
- 2009/07 (14)
- 2009/06 (11)
- 2009/05 (10)
- 2009/04 (11)
- 2009/03 (15)
- 2009/02 (14)
- 2009/01 (14)
- 2008/12 (15)
- 2008/11 (16)
- 2008/10 (18)
- 2008/09 (21)
- 2008/08 (5)

ナロども申請フォーム

この人とナロどもになる



県央から来ていただいた方に植え方を教えていただき、いざ植樹！(*∇*)

前日にみーもスタッフが頑張って穴を掘ったり苗を置いておいたりしたので、スムーズにできる
 筈！？(*∇*)

ご家族に1本ずつ植えていただきました。

みんなで協力しながら、上手に植えられたかな？(*∪*)

みーもスタッフもお手伝いしながら、順調に作業は進んでいきました！

合計40本のサクラの苗が植えられました。

皆さん、お疲れ様でした。

最後に全員で記念写真をパチリ☆

QRコード



修正版 訪問回数表示

ようこそ初めての訪問
あなたのカウンターは2重カウント
していないカウンターです。

2重カウントしていない

カウンターに変更
(選択のみで変更になります。次回
の訪問で適用)

検索フォーム

検索

RSSリンクの表示

最近記事のRSS
最新コメントのRSS
最新トラックバックのRSS

リンク

MIZUHO HIGHLAND



ありがとうございました!(*'▽'*)

キレイなサクラが咲きますよーに!

写真 4 拍手

Ads by Google

YouTube 視聴をスピードアップ - google.co.jp/chrome
Google が開発した無料ソフト"Chrome"でストレス無いYouTube 動画閲覧

森林インストラクター講座 - www.happy-semi.com
森林インストラクター資格試験に合格できる実力が身につく通信講座。

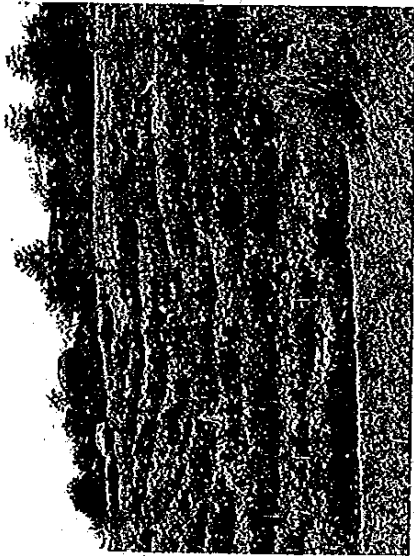
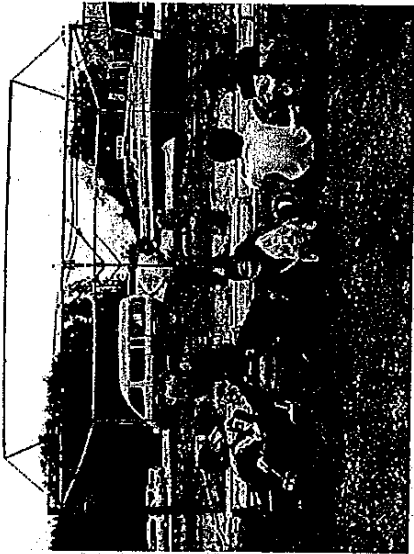
ホットクレンジングジェル - shop.manara.jp
美容成分87%配合の"ホットクレンジングジェル"公式サイトはこちら!

17:07 みーもの森づくり事業 | コメント(0) | トラックバック(0)

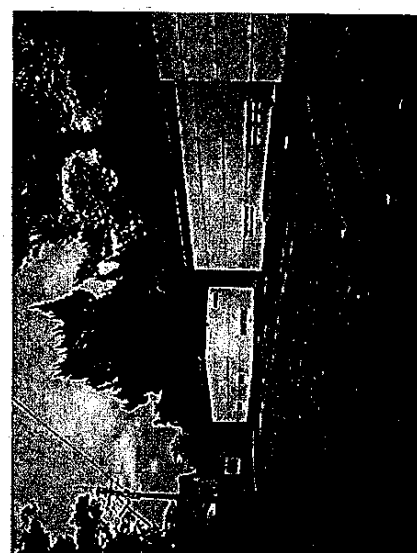
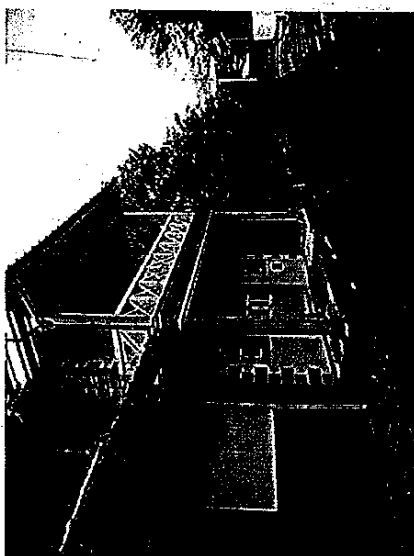
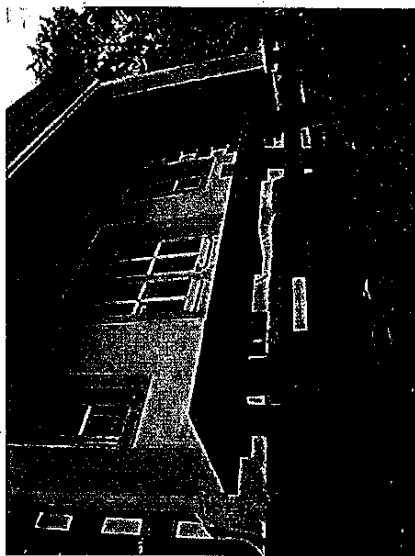
コメント

10/30

森山 17.17.17.17.17.17
田舎 24

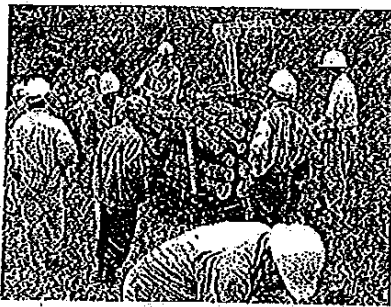


江津市
本町・金田・烏。皇地区
連合会



「やまびこ号」で薪を搬出

十月二三日、やさか森づくりの会がみーもの森づくり事業（島根県の森林環境税関連事業）を受けて導入した林内運搬車「やまびこ号」が弥栄にやってきました。仲三集落の三浦香さんの山で、マキノの丸太を運んだあと、付属のウインチで別の木を引き上げ、立派に初仕事を披露してくれました。



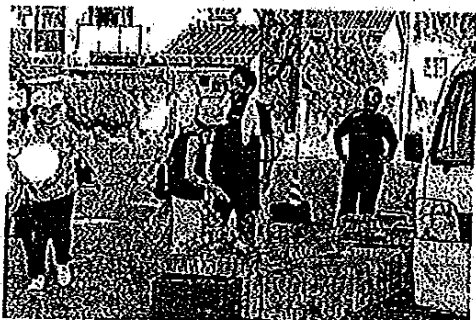
初仕事をした「やまびこ号」

午後弥栄で四回目になる薪割りの会を実施。浜田と江津で薪ストープを使う方々と一緒に薪を割り、軽トラック一台分を落札しました。次回の薪割りの会は十一月の末頃を予定しています。ご関心のある方、ぜひお問い合わせください！（福）

その後の軽トラ市

弥栄の若手農家を中心に、七月から始めた軽トラ市も十月で五回を数えました。緑ヶ丘団地を会場に月一回ペースで開催しています。

軽トラ市は毎回が学びの場です。一人暮らしや夫婦世帯の多い団地では鮮度重視の葉ものは少量が適正サイズ。車を運転されないお年寄りには、徒歩では重くて帰れない力ボチヤなどの大きな野菜も好評ということがわかってきました。



お客さんとの交流が何よりの楽しみ

十月には団地内に園芸部が発足し、農家や当事務所と連携しながら弥栄を訪ねる企画を準備しています。（相）

農家の庭先を食卓に

市場価格でなく農家が食べていける価格で産品を取引する「民衆交易」を進めているNPO法人「あぶら」と郷づくり事務所共同企画で体験ツアー「山村自給の世界から交易を考える」を開催しました。生協や世界各地で民衆交易を進める会社（A・T・J社）の若手スタッフ、「あぶら会員」など八名の方が参加されました。若手農家と交流し、徳田金美さんの案内で弥叡山の散策の後、横谷の新庄さん・仲田さん宅で庭先の畑から収穫した野菜をふんだんに使った石窯料理を楽しみました。（相）



「庭先野菜」の新鮮さにびっくり！

編集後記

ぐつと気温が下がり、冬支度をしなければ…と感じるようになります。先月は小角集落の秋祭りにお邪魔したこともあつてか、小さい頃、集落の秋祭りの神楽を見に行く時、家族で毛布を抱えて宮に向かったことを思い出しました。そして風邪をひいたことも。

さて、十月は紙面でお伝えしたように行事盛りだくさんでした。そして多くの住民の方々が参加されたり協力して頂いたりしました。これまで私たちが活動に共感して下さった方々に集まっていただいています。「鬼ごっこするものこの指と〜まれ」と一緒です。一人では鬼ごっこはできませんが大勢でやればその分盛り上がります。まちづくりも同じで、「弥栄を元気にする」ためにみんなが集まって総力戦で将来の弥栄を考え、行動する姿が求められていると思います。「何をしたらいいか、わからない」と思う方もいるでしょう。それをみんなで作るため、集って知恵を絞ってみませんか？「三人寄れば文殊の知恵です。」（み）

(みまの森づくり事業)

里山の再生願いの山
住民が植樹活動

隠岐の島

隠岐の島町原田の銚子ダム近くの山林で、植樹のボランティア活動があり、町民約20人が里山再生の願いを込め、ヤマザクラなどの苗木約500本を植樹した。

同地区の山林管理などを行う社団法人・原田愛郷社(斉藤幸広理事長)が主催。植樹活動は2002年から毎年、県の助成事業を活用して続けて

いる。植樹場所は、山林を走る南谷林道沿いにある、道路工事の残土処理場跡。主催者側があらかじめならしておいた跡地

に、参加者がヤマザクラやミズナラ、イチヨウ、ヤマグワの4種類の苗木を一本ずつ丁寧に植え付けた。祖父と参加した同町立

中条小2年、大西翔君(8)は「植える作業は大変だったが、大きな木に育ち、いっぱい実をつけてほしい」と話した。

(2-10-11)

図書館整備に町民協力



本棚作りに取り組む参加者

本棚とテーブル手作り

10/14

海士 20人ボランティア作業

海士町が改修を進めている隠岐開発総合センター（海士町海士）で、図書館の本棚などを手作りするワークショップがあり、町民ら約20人がボランティアで作業に当たった。

公民館や図書室機能を備えた同センターは、老朽化に伴い改修工事が進み、16日にリニューアルオープンの予定。町は改修に合わせ新棟約200平方メートルを増築し、旧図書室の5倍の広さがある図書館も同日開館させる。ワークショップは、町民みんなで図書館への取り組み、と町教育委員会が主催した。

参加者は4班に分かれ、隠岐産間伐材を活用した部材を組み立て、本棚30台とテーブル10台を製作。利用者の使いやす

さを考慮しながら、新棟に配置した。開館を心待ちにしているという小学校事務職員、村尾由美子さん(40)「同町宇受賀」は「自分たちが作った備品が置かれ、図書館への思いが一層強まった」と話した。